



北陸保全工業株式会社

北陸保全工業株式会社

新潟市東区一日市180-1 TEL 025-384-8908 FAX 025-384-8928
建設業・新潟市指定清掃業、交通安全施設・道路維持管理（従業員数67名）

主な取組

- 健康経営推進事務局を設置
- 会社独自の健康イベントの開催
- カフェスペースの活用 など



代表取締役 青池 八枝子氏

実践者を見て、取組む人が増えるよう 波及効果を狙った環境づくりと企画提案

導入のきっかけ

北陸保全工業株式会社が「健康経営」に取り組むようになったのは令和2年のことだった。「従業員の高齢化や長引く人材不足、近年では感染症の流行など、将来の労働生産性低下が懸念されるなか、打開策のひとつとして始めたのが『健康経営』でした」と青池代表取締役。道路の維持管理や廃棄物収集など体力を必要とする事業を手掛ける同社は、従業員が安全に仕事を続けるためには健康が土台になると考えてのことだった。

取組の成果

今でこそ活動が活発になっているが、導入当初は足踏み状態が続いたという。「取組が軌道に乗ってきたのは、改めて推進体制を整



推進事務局の松浦総務課長(左)と青池総括代表(右)

備してからです」と青池総括代表。トップダウンでは一過性で終わると感じ、各部署から適正のある担当者を選任し、健康課題を共有することから始めた。意識統一を図るため、推進事務局の松浦課長は、一人ずつ担当者を訪ねてまわり、協力者を増やしていったという。

丁寧な下地をつくった甲斐があり、「健康経営」の取組に対する理解が深まった。健康課題の把握には保険会社のアンケートを活用。把握した運動習慣が定着していないという課題に対し「ウォーキング・健康測定習慣化チャレンジ」を自社で企画し、運動効果を実感してもらうとともに、血圧など健康測定の習慣化を目指した。

また、社内のあるちこちには健康情報が掲示しており、デスクの近くには体重計や健康器具が置かれ、仕事でも使用できる。他にも、健康意識が高まるよう給与明細に健康情報を同封したり、昇降運動ができる踏み台の近くには運動法やその効果を掲示するなどして、実践を促す工夫をしている。社内には健康づくりの目安箱を設置し、イベント企画のアイデアが寄せられているという。



仕事中、バランスボールをイス代わりにしている従業員も

日常に活動が溶け込む同社であるが、その中心メンバーの松浦課長は、「経営陣の熱意が活動の原動力です。経営陣の想いを実現するのが仕事なので、業務の一環としてやり遂げたい」と話し、総務の業務と並行して毎日「健康経営」の企画運営をコツコツ続けている。

令和3年の社屋移転の際には、社内にカフェスペースが新設され、コミュニケーションを深める場になっている。そこには無糖飲料の給茶機を設置し、屋外の自販機も見直した結果、血糖の有所見者が2年で6%減少した。

今後の展望

「直近の課題は、喫煙者を減らすことと、デンタルフロスを配布するなどして、歯の健康にも取組んでいくことです」と青池総括代表。「健康づくりのための環境を整え、イベント企画や情報提供などを通じて、各自が自分に合った方法を選び、できることを積み重ねていってほしい」と松浦課長は話している。



従業員の声 VOICE OF THE EMPLOYEES



工務部 土田さん

周りに触発されて、体を動かす機会が増えました

当社では毎日14時半になると、デジタルサイネージからラジオ体操の動画が流れるようになっているので、その時間になると全員が仕事の手を止めて、一緒に体を動かします。

社内ではさまざまな健康イベントが企画され、昨年はウォーキングイベントに参加しました。普段はあまり運動する方ではありませんが、その時は歩数アプリで社内の人たちと

競ったりして楽しかったですね。社内にはコピー機の近くに昇降台、ミーティングスペースに血圧計が置いてあるのですが、誰かがそれを使っていると、自分もつられて使う機会が増えました。

私は体を動かす仕事ではないので、ウォーキングなどで運動をしたり体力をつけて、栄養面にも気を配りたいと思っています。



コピーの合間に昇降台で運動